

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道56号 <small>とさし</small> 土佐市バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局	
起終点	自：高知県高知市春野町弘岡上 至：高知県土佐市蓮池	延長	4.3km			
事業概要	<p>国道56号は、高知市を起点に四国の西南地域を経て松山市に至る延長約300kmの主要道路であり、沿線地域の産業・経済活動や地域間の連携を支援する重要な路線である。</p> <p>本路線は、土佐市において、長い間、農産物や工業製品などの輸送、あるいは通勤・通学など「生活を支える幹線道路」として地域の発展に大きな役割を果たしてきたが、市街地においては、交通量の増加に伴う交通渋滞や交通事故などが顕在化している。</p> <p>そこで、土佐市バイパスは、通過交通を転換させることで、土佐市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図るほか、四国横断自動車道とのアクセス強化を目的とした事業である。</p>					
H1年度事業化	S63年度都市計画決定	H6年度用地着手	H9年度工事着手			
全体事業費	約367億円	事業進捗率	約87%	供用済延長	3.1km	
計画交通量	19,000~25,500 台/日 [現況+事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの]					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 34/435 億円 (事業費：31/418億円) (維持管理費：3.2/18億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 84/616 億円 (走行時間短縮便益：74/543億円) (走行経費減少便益：7.5/45億円) (交通事故減少便益：2.9/28億円)	基準年	平成23年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量 : B/C=1.3~1.6 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.2~2.7 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.4~1.4 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=2.3~2.7 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.4~1.4 (事業期間 ±10%) 事業期間 : B/C=2.4~2.5 (事業期間 ±10%)</p>					
事業の効果等	<p>① 円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度が改善される。 ・現道等の路線バスの利便性や快適性の向上が見込まれる。 ・土佐市からJR高知駅までの所要時間の短縮が見込まれる。 ・土佐市から高知龍馬空港までの所要時間の短縮が見込まれる。 <p>② 物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市から高知新港までの所要時間の短縮が見込まれる。 ・土佐市の文旦、しょうが等の農産物の出荷場（高知市）への所要時間の短縮が見込まれる。 <p>③ 国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市から高知市へのアクセス向上が期待される。 <p>④ 個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市の大綱まつり、ホエールウォッチングなどの観光地へのアクセス向上が期待される。 <p>⑤ 安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市から第三次救急医療施設へのアクセス向上が期待できる。 <p>・歩行者交通量100人/日以上で歩道のない現道区間が解消される。</p> <p>⑥ 災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路に位置づけられている。 <p>⑦ 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑧ 生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 <p>⑨ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道の市街化により、地域経済を牽引し、さらに地場産業活動の効率化を支援している。 					

関係する地方公共団体等の意見
 【地域から頂いた主な意見等】
 ・本事業の推進にあたっては、周辺の自治体などで構成する建設促進期成同盟会より、積極的な整備促

進について要望活動が続けられている。

【高知県知事からの要望】

・事業継続に異議はありません。一般国道56号土佐市バイパスは、市街地の交通混雑を解消し、交通安全の確保や都市間のアクセス性の向上につながる、住民の日常生活に直結する重要な路線であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」とする。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成13年 4月 仁淀川河口大橋無料化
- ・平成14年 3月 春野拡幅完成4車供用
- ・平成14年 7月 浦戸大橋無料化
- ・平成14年 9月 土佐道路暫定2車供用
- ・平成20年 3月 土佐道路完成4車供用

事業の進捗状況、残事業の内容等

・用地進捗率100%、事業進捗率約87%となっている。(H22年度末時点)

今後の事業の見通し等

・残る仁淀川渡河橋を含む工事については、平成26年度の4車線供用を目指し事業を推進している

施設の構造や工法の変更等

・橋梁（上部工）の歩道及び路肩幅員の縮小(3.6億円)、擁壁工等(6.2億円)を含み全体で約20億円の事業費を減額。

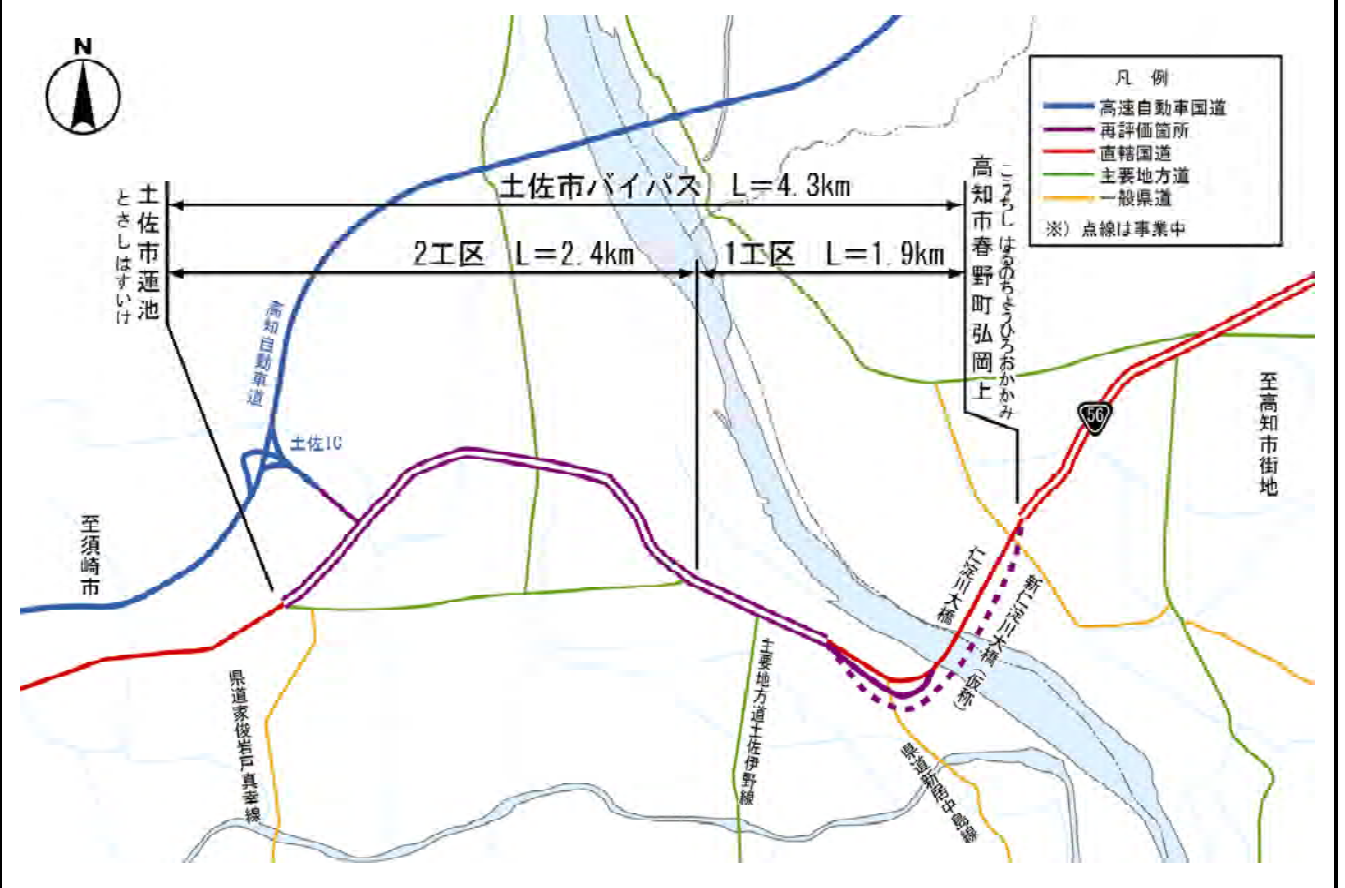
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・以上の事業効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。